

タクシーに乗ると必ず運転手と会話をするようにしている。タクシーの運転手それぞれのキャラクターがあり、会話がどう転がるのかが分からないからである。時事問題に話が進むこともあるし、お互いの仕事の話になることもある。時には趣味が同じで盛り上がり、その運転手が私の父親を乗せたばかりだということが判明したりすることさえあった。

ある日、運転手と「もう1年が終わっちゃいますね。いやぁ早いですね」と、よくある教科書通りのフレーズで会話が始まった。するとその運転手は「初めていく場所へのドライブって時間が長く感じるけど、毎日そこに行ったら慣れて短く感じますよね。そんな感じでしょうかね。私らみたいに年を重ねてくると1年なんて一瞬ですよ」と運転手らしいたとえを述べられた。

実はこの感覚は正しいようだ。フランスの哲学者ポール・ジャネの発案したジャネーの法則によると、年をとればとるほど1年が短くなるという心理効果があることがわかっており、1歳のときの1年間の体感を365日とすると、40歳になると1年は9日、60歳では6日に感じるらしい。たしかに、子どもの1年と大人の1年は感じる長さは違ふと実感してきた。小学校3年生のときだった。「小学校、長すぎないか？まだ3年生…小学校卒業までの折り返し地点にすら来ていない」とふと思ってしまい呆然としたことがあった。1日が長くて長くて暇を持て余していたような記憶もある。子どもにとっては見る世界の全てが刺激に溢れているから長く感じていたのだ。だがどうだろう、高校3年間、大学4年間、そして社会人になってみると、1年の長さは短い。とにかく短い。ルーティンができ、ある程度の物事は予測ができるようになり、そして1年が短く感じる。

では1年を長く感じるためには、1日の中に「新しいことを取り入れること」がカギとなるようだ。毎年、あっという間に終わってしまう年末年始の冬季休業期間(冬休み)を少しでも長く感じるためにも、いつものことを取り入れてみようではないか。例えば、朝にスマートフォンを家に置いて目的地もなく散歩を試してみたり、いつもはしない家事に挑戦してみたり、授業の予習を試してみたり(いやこれは普段から皆さんしていますよね笑)などなど、いくらでも思いつくはずだ。

さて、この文章を長いと感じてくれたなら、みなさんにいい刺激を与えられたのだと前向きに捉えたいと思う。

## 週行事予定表

(12/10～12/23)

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
12月	10	金		○	○	7:25 登校
	11	土	土曜講座 A 合勝うどん (3年)			
	12	日				
	13	月		×	○	7:25 登校
	14	火		○	○	7:25 登校
	15	水		×	○	7:25 登校
	16	木	LHR 学校安全実践地域訪問報告会	○	○	7:25 登校
	17	金		○	○	7:25 登校
	18	土				
	19	日				
	20	月	①②③④⑦ 防災教育講演会 14:00～	×	○	7:25 登校
	21	火	授業①～⑥	×	○	7:25 登校
	22	水	授業①～⑥	×	○	7:25 登校
	23	木	授業①～⑥	×	○	7:25 登校

※朝課外のある日は7時25分校門通過、朝課外のない日は8時15分校門通過を厳守しましょう